

講義名	卒業研究				
講義コード	14423	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
担当教員	綿貫 真也	ナンバリング・コード		SEM440	

学部・学科	演習分野
各学部の全学科	次世代マーケティング・リサーチ（消費者神経科学）

概要説明
 本ゼミでは、マーケティング戦略課題に対して（顧客価値の創造など）、以下の次世代マーケティング・リサーチの手法を積極的に活用していきます。特に、本ゼミでは、消費者神経科学（コンシューマニューロサイエンス）の研究アプローチの基礎を学びます。

- 1) 脳神経科学の生理学的基礎
- 2) 脳神経科学と心理現象
- 3) 脳神経科学のマーケティングへの応用（ニューロマーケティング）
- 4) 脳神経科学と心理に関する分析手法

主な卒業論文のタイトル

- ・不人気ビジネスであるパチンコ産業再生の戦略 - 既存ユーザーの活用による売り上げの上昇
- ・ブランドラブ（ブランド愛）の神経基盤について
- ・ブランド愛関係ダイナミクスの神経メカニズム

教員よりの要望

・プログラムスキルや数学的な知識、医学・生理学的基礎知識などは必要としません。PCは使用しますが、プログラミングはしません。また、医学・生理学的知識などは、ゼミ内で講義するので、その都度学んでいきましょう。
 ・個人で使用できるPC（家庭に1台あるということではなく、自分だけが自由に使用できるという意味）があったほうが、より発展的な学修・研究が可能になりますが、必須ではありません。

選考方法

自己紹介書類、面接など

評価方法
ゼミ参加度、課題への取り組み姿勢など 講義形式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない 卒業論文

教員英字氏名	研究室
SHINYA WATANUKI	研究棟 203

最終学歴
 慶應義塾大学文学部卒業 / 横浜国立大学大学院環境情報学府 博士課程後期修了

学位
 博士（工学）

主な研究活動・社会活動・研究業績
<https://researchmap.jp/swatanuki>

趣味・特技
 グラフィックデザイン・茶道・コーヒーの焙煎

所属
 商学部

所属学会
 日本マーケティング学会、日本消費者行動研究学会、日本感性工学会、コンピュータ利用教育学会

専門分野
 ブランド戦略論、マーケティングリサーチ、消費者行動論、消費者神経科学、機械学習・知能情報学（人工神経回路網モデル・進化計算論）

担当科目
 消費者行動論、消費者行動特論（大学院）、マーケティング・データ分析、マーケティング・リサーチ、流通概論、流通科学入門、研究演習1・2、教養特講1、プロデュース論

備考

実務経験の有無及び活用
 「実務経験あり」。実際に、社会・企業で要請される能力を軸として、企業人を要請するための指導をしていきます。そのために、本ゼミでは、学生を子供ではなく、企業社会における1社会人として扱います。